

2027年3月期第2四半期(中間期) 業績概要

杉田 俊一

アンリツ株式会社
取締役 専務執行役員 CFO

2026年10月29日



東証 プライム
証券コード：6754
<https://www.anritsu.com>

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、新たな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目 次

1. 事業概要
2. 2027年3月期第2四半期(中間期) 連結決算概要
3. 2027年3月期 通期業績予想 (連結)
4. 当社の取り組みについて

1. 事業概要

通信計測事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ◆ ネットワーク・インフラ市場
：データセンター、光/無線NW
- ◆ モバイル市場：5G/6G、5G利活用
- ◆ エレクトロニクス市場：電子部品、無線設備、研究開発



PQA事業

食と医薬品の安全・安心

- ◆ 食品検査市場
- ◆ 医薬品検査市場



環境計測事業

脱炭素社会を目指して

- ◆ EV/電池市場
- ◆ 航空宇宙・再エネ市場
- ◆ 社会インフラIT市場



その他



- ◆ センシング
& デバイス
- ◆ その他

(セグメント別売上比率)

2026年3月期 実績（連結）：1,175億円

通信計測 59%			PQA 26%	環境計測 9%	その他 6%
ネットワーク・インフラ 39%	モバイル 38%	エレクトロニクス 23%			

2027年3月期（4-9月）実績（連結）：693億円

通信計測 61%			PQA 24%	環境計測 10%	その他 5%
ネットワーク・インフラ 55%	モバイル 27%	エレクトロニクス 18%			

(通信計測事業 地域別売上比率)

2026年3月期 実績

日本 17%	アジア他 36%	米州 28%	EMEA 19%
--------	----------	--------	----------

2027年3月期（4-9月）実績

日本 11%	アジア他 48%	米州 25%	EMEA 16%
--------	----------	--------	----------

2-1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

▶ 前年同期比 増収増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	550	878	328	60%
売上高	517	693	176	34%
営業利益	50	96	46	90%
税引前利益	54	95	41	78%
当期利益	38	66	28	72%
当期包括利益	45	59	14	31%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

2-2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

▶ 前年同期比で、通信計測、PQAはともに増収増益、環境計測は増収減益

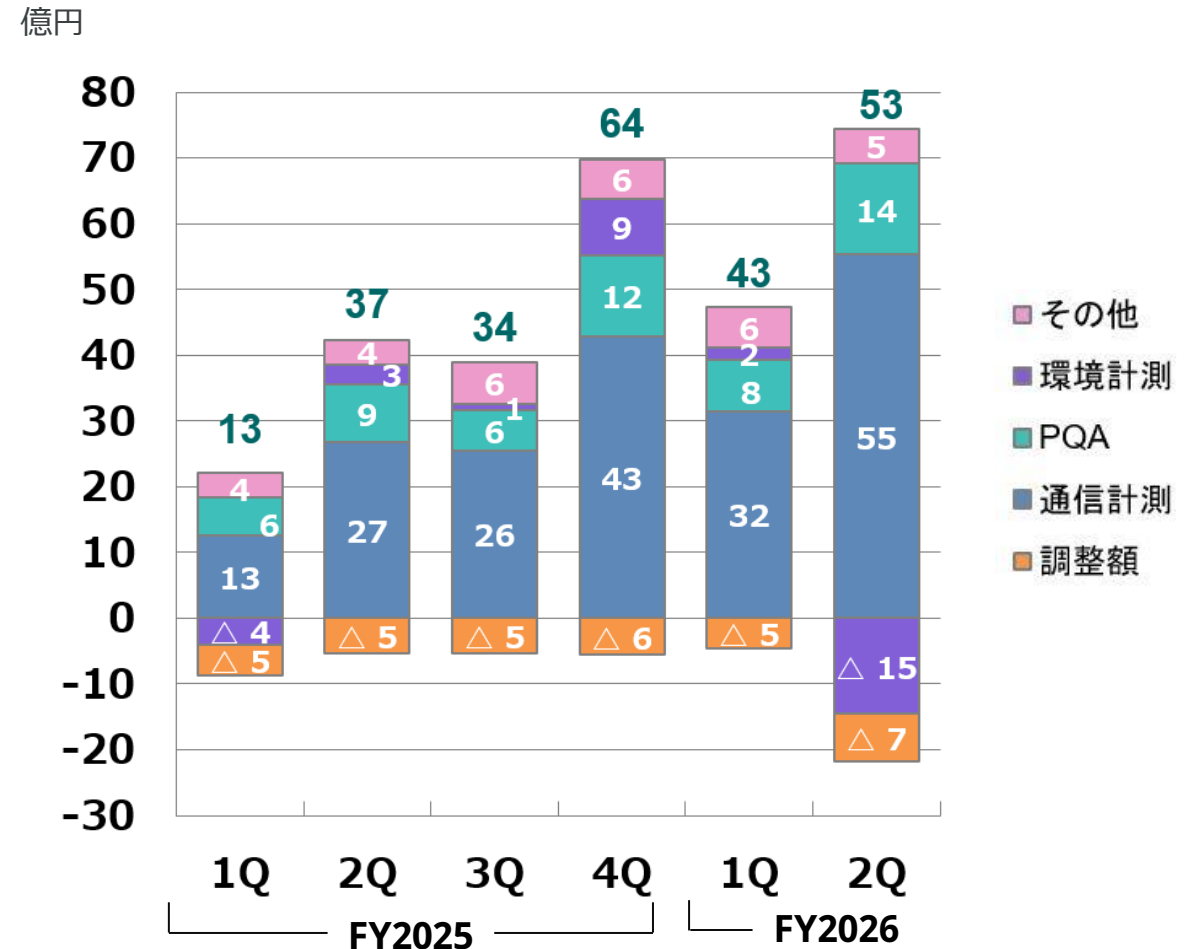
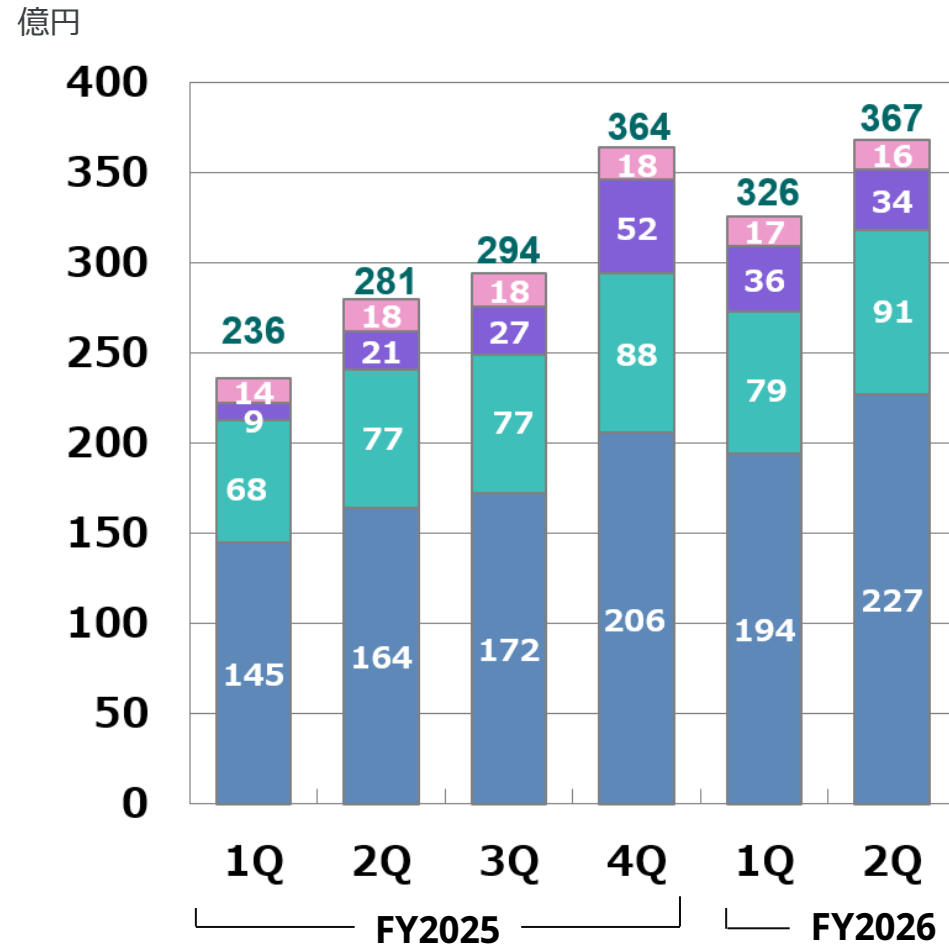
国際会計基準(IFRS)		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
通信計測	売上高	309	421	112	36%
	営業利益	39	87	48	120%
PQA	売上高	145	170	25	17%
	営業利益	15	22	7	48%
環境計測	売上高	29	70	41	137%
	営業利益	△ 1	△ 13	△ 12	-
その他	売上高	33	33	△ 0	△ 0%
	営業利益	7	11	4	54%
調整額	営業利益	△ 10	△ 12	△ 2	-
合計	売上高	517	693	176	34%
	営業利益	50	96	46	90%

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入（前年同期比増減額を除く）

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

2-3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

2Q(7-9月)営業利益率：通信計測 24.4%、PQA 15.2%



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-4. 事業別営業概況

セグメント 2027年3月期（4-9月）の状況

➡ 通信計測：データセンター関連を中心に需要は好調

ネットワークインフラ	生成AI用のデータセンターの構築・高速化が加速 光海底ケーブルの敷設が増加傾向
モバイル	5G開発市場の投資は低調。スマホ中古再生市場での測定器需要が拡大 5G利活用市場では自動車やNTN、Wi-Fi 7の需要が継続
エレクトロニクス	ANS*関連の需要が北米と日本で継続 PCIeの研究開発需要が引き続き好調
アジア他・日本	データセンター市場の顧客の投資は好調 5Gスマホ開発市場の投資停滞
米州	データセンター市場の顧客の投資は好調

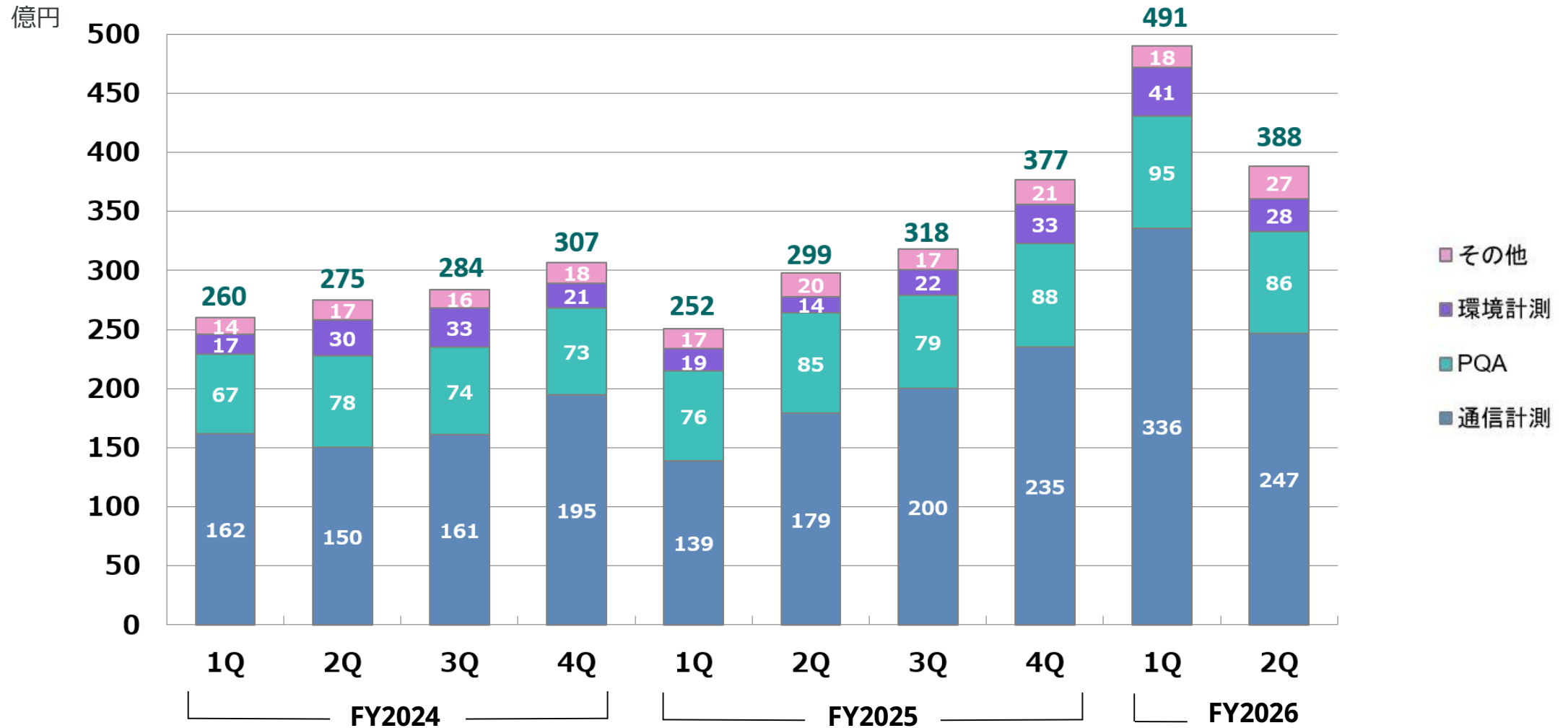
*ANS(エアロスペース&ナショナルセキュリティ)

➡ PQA：全地域で好調。特に北米地域で食肉市場を中心にX線検査需要が好調

➡ 環境計測：EV/電池向け試験装置需要は調整局面
データ収集システムの需要は堅調

2-5. 受注高推移

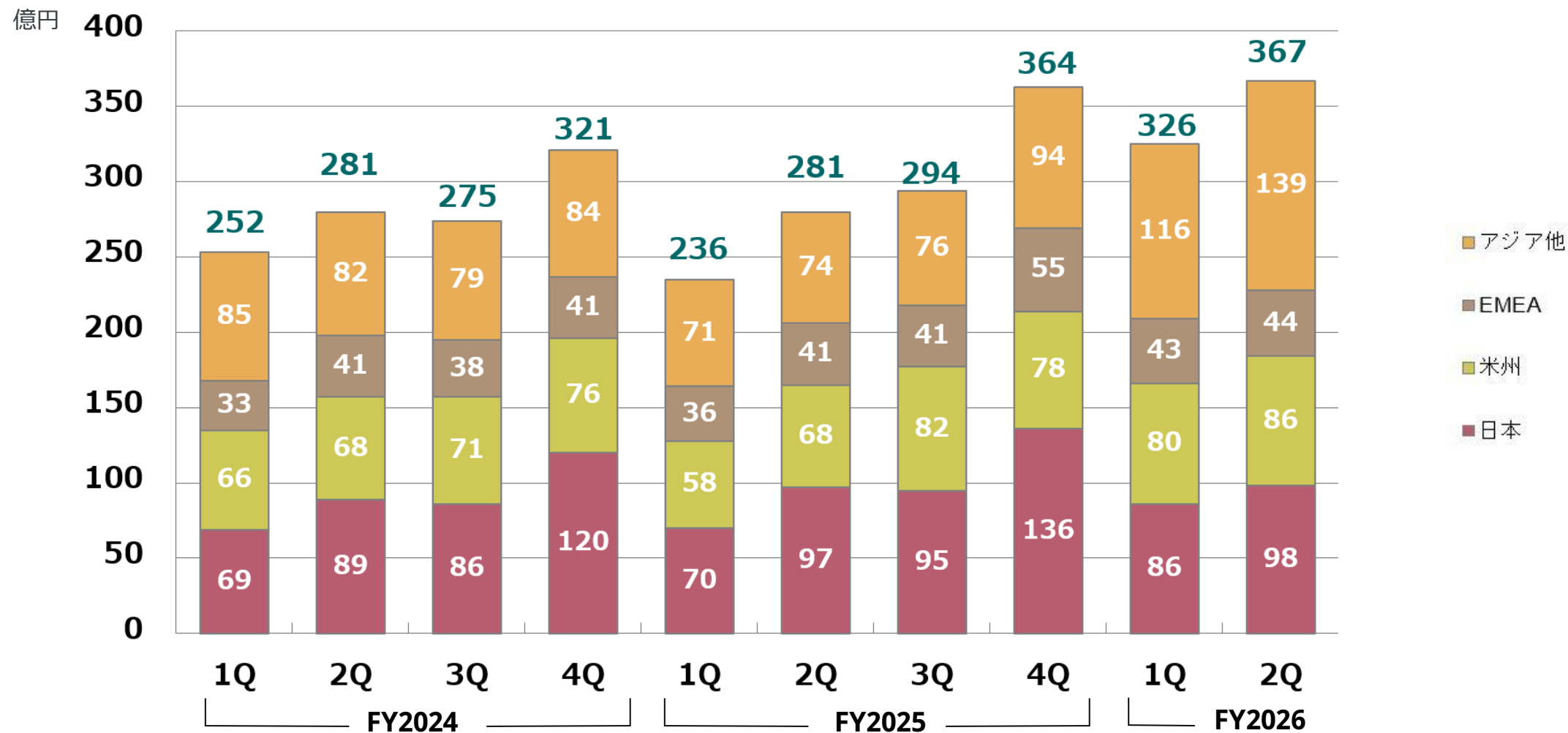
▶ 2Q(7-9月)受注高：前年同期比 通信計測 37%増、PQA 1%増、環境計測 99%増



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-6. 地域別売上高推移

▶ データセンター関連需要により米国とアジアで前年同期比大幅増



(注) 値はそれぞれで四捨五入

2-7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率 12.8%

FY2026(4月～9月)

①営業CF： 88億円

②投資CF： △23億円

③財務CF： △44億円

フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 65億円

現金同等物期末残高

513億円

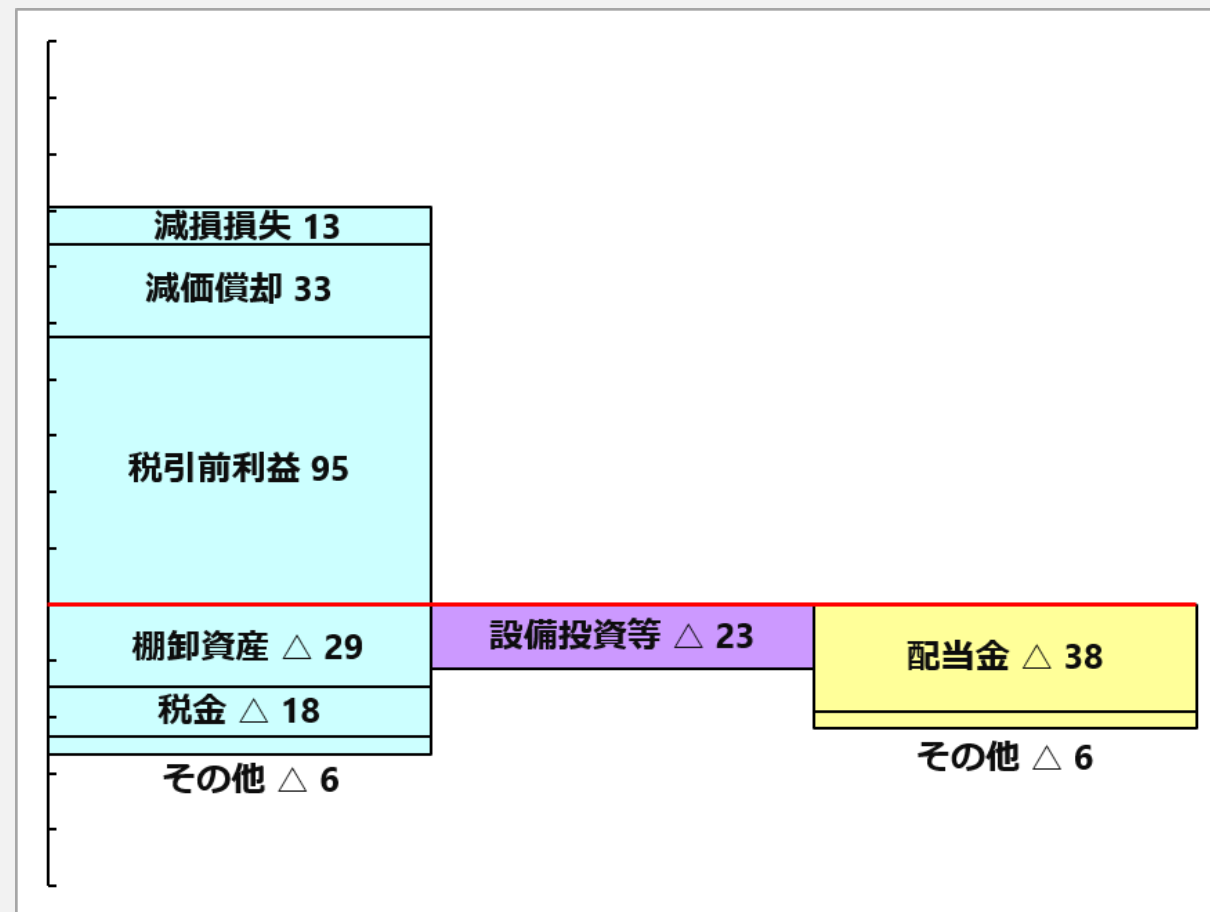
有利子負債高

70億円

(注) 値はそれぞれで四捨五入

内訳

(単位：億円)



営業CF 88

投資CF △23

財務CF △44

3-1. 2027年3月期 通期業績予想（連結）

▶ 4月27日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正

（単位：億円）

国際会計基準(IFRS)			2026/3期	2027/3期			
			前期実績	通期予想		前期比	
				4/27発表	今回発表	増減額	増減率(%)
売上高			1,175	1,400	1,450	275	23%
営業利益			148	200	220	72	48%
税引前利益			161	200	220	59	36%
当期利益			117	150	160	43	37%
	通信計測	売上高	688	850	900	212	31%
		営業利益	108	165	200	92	85%
	PQA	売上高	310	330	340	30	10%
		営業利益	33	40	42	9	27%
	環境計測	売上高	108	160	145	37	34%
		営業利益	9	10	△ 12	△ 21	-
	その他	売上高	69	60	65	△ 4	△ 5%
		営業利益	20	15	20	0	1%
調整額		営業利益	△ 21	△ 30	△ 30	△ 9	-

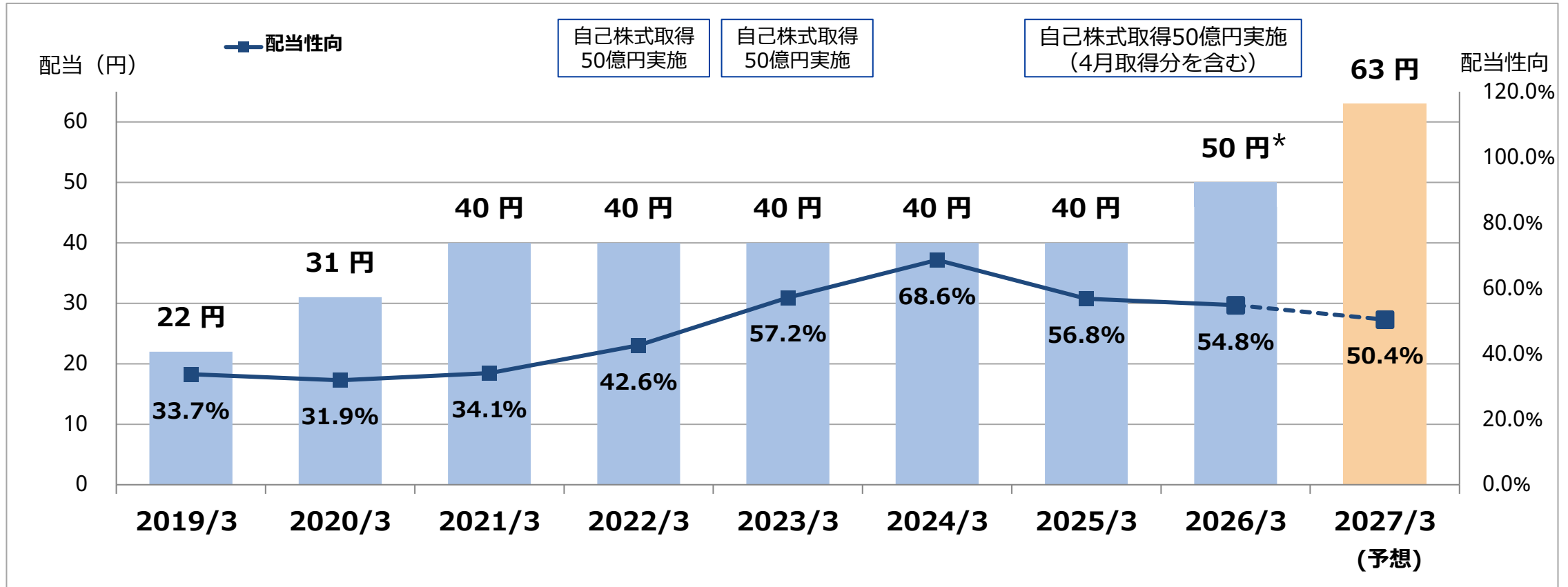
（注）値はそれぞれの欄で四捨五入（前期比増減額を除く）

（参考） FY25 為替レート : 1米ドル151円、1ユーロ175円
FY26 期初想定為替レート : 1米ドル150円、1ユーロ175円
FY26 下期想定為替レート : 1米ドル150円、1ユーロ175円

3-2. 配当予想について

2027年3月期
配当予想の修正（増配）

50円 → 63円
（中間配当25円、期末配当38円）



3年間の 総還元性向	GLP2020 (FY2018～FY2020)	GLP2023 (FY2021～FY2023)
	33.3%	87.5% (自己株式取得100億円含む)

*2026年3月期：記念配当4円を含む

4.当社の取り組みについて

濱田 宏一

アンリツ株式会社
代表取締役 社長

4-1. 通信計測市場トレンドと事業機会

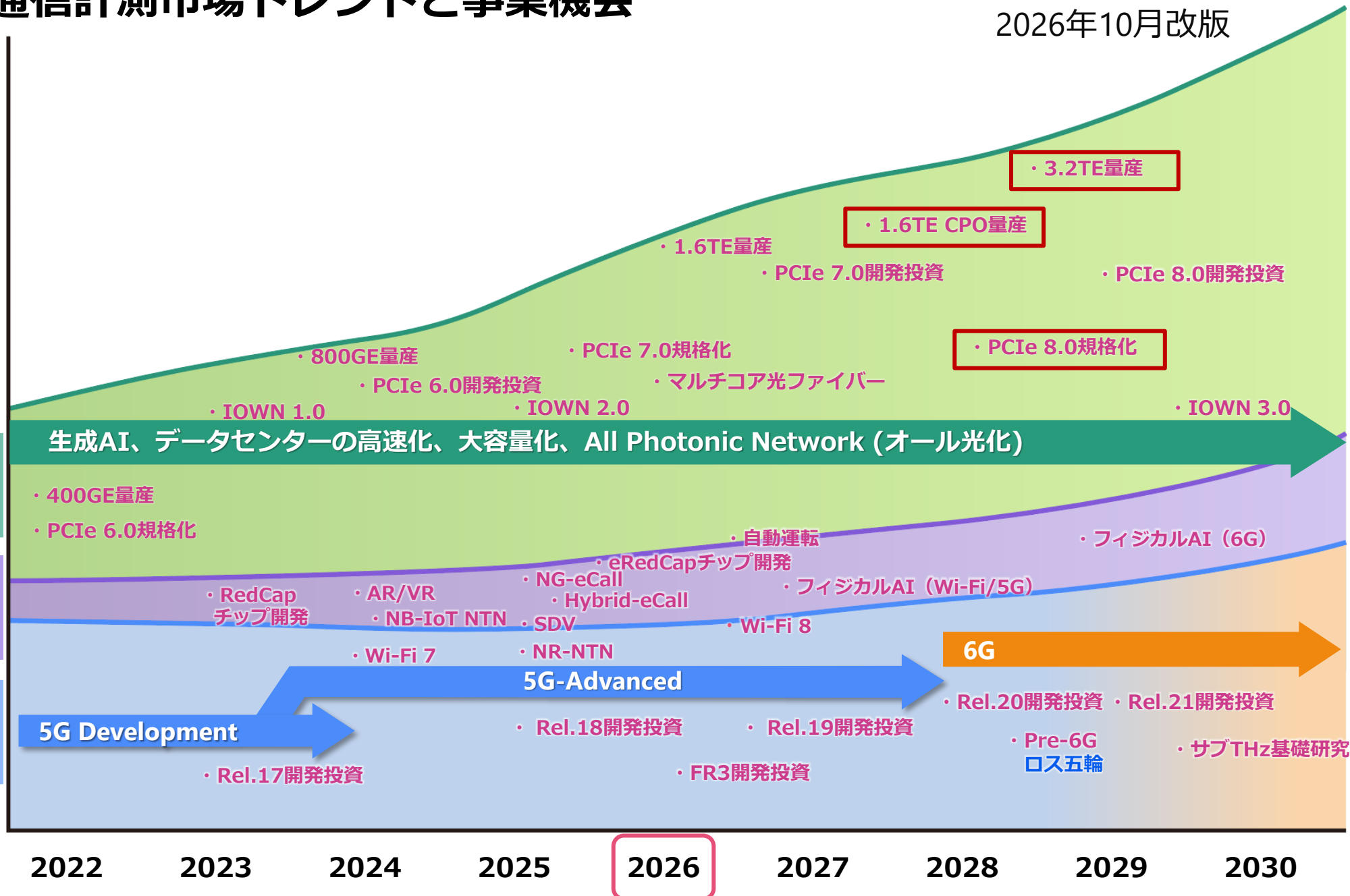
2026年10月改版

市場規模

Wireline
Market

5G/6G
Utilization
Market

Mobile
Market



通信計測

- ・ 北米・アジアでのデータセンター関連
- ・ 日・欧・米でのANS関連
- ・ Wi-Fi 7およびWi-Fi 8の初期開発需要
- ・ 北米でのNTN関連
- ・ 北米でのスマホ中古再生市場

* ANS : エアロスペース&ナショナルセキュリティ



BERT Wave MP2110A



ワイヤレスコネクティビティ
テストセット MT8862A

PQA

- ・ 北米での食品市場向けX線検査機
- ・ アジアでの医薬品市場向け
カプセルチェッカー・エアゾールチェッカー
（重量選別機）や金属検出機
- ・ 国内の計量法改正向け重量選別機

X線検査機
XR76シリーズ



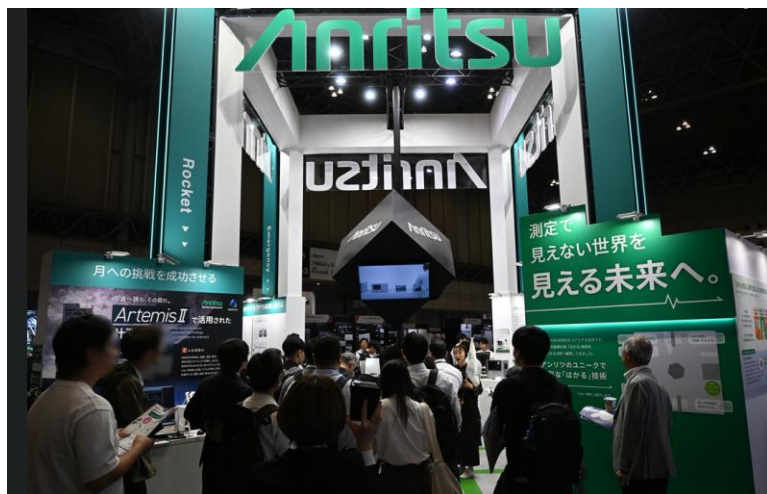
環境計測

- ・ 欧米でのANS市場向け
DAQ（データ収集システム）



データ収集システム（DAQ）

■ アンリツブースの概要



テーマ

**社会の変革-Transformation-は
測定から始まる。
見えない世界を、見える未来へ。**

トピックス

- ・ 当社ブース来場者数: 2,166人
- ・ 約50名のVIPが当社を視察
- ・ 医薬品製造セミナーでは約60名の聴講者
- ・ データセンター関連に注目が集まる

AI



- ・ 最適な測定方法 را 導き出すAI搭載ベクトルネットワークアナライザ
- ・ AI推論の信頼性を数理で説明

EV・モビリティ



- ・ 自動車緊急通報システム『Hybrid eCall』評価ソリューション
- ・ EVバッテリーの充電・走行評価を加速する『Power HIL*』

*HIL:Hardware-in-the-Loop

宇宙



- ・ 月への挑戦！アルテミス計画を支える、高精度計測・データ収集による試験・検証

通信



- ・ AIデータセンターの信頼性を支える通信品質評価
- ・ AI社会を支える超高速光通信用半導体技術

食品



- ・ 食品業界向けAI搭載X線検査機

